「り」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「り」で始まる語彙辞典 4

おわりに 17

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「り」で始まる語彙辞典

り‐かん【罹患】
［名］（スル）
病気にかかること。罹病。「コレラに―する」

り‐がん【離岸】
［名］（スル）
船が海岸・岸壁から離れること。「客船が―する」⇔接岸。

りき‐えん【力演】
［名］（スル）
力いっぱい演じること。熱演。「若手が初役を―する」

りき‐かん【力感】
力強い感じ。力がこもっている感じ。「―がみなぎる彫像」

りき‐せん【力戦】
［名］（スル）
力いっぱい戦うこと。力闘。「―したが及ばなかった」「―奮闘」

りき‐そう【力漕】
［名］（スル）
ボートなどを力いっぱいこぐこと。「クルーが一体となって―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りきみ - かえ・る【力み返る】
［動ラ五（四）］
はなはだしくりきむ。「負けてたまるかと―・る」

りく - あげ【陸揚げ】
［名］（スル）
船の積み荷を陸に揚げること。「貨物を―する」

りく - ぞく【陸続】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
次々と連なり続くさま。「支援部隊が―と到着する」

りくつ - ぬき【理屈抜き】
理屈をつける必要がないこと。「―におもしろい」

り - ごう【離合】
［名］（スル）
離れることと合わさること。離れたり一緒になったりすること。「政権を争って党派が―する」

り - さん【離散】
［名］（スル）
まとまっていた人々が、互いに離れ離れになること。「一家が―する」

り - しゅう【離愁】
別れの悲しみ。「―を味わう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

り - ぜめ【理責め】
理屈で相手をやりこめること。理屈責め。「―の攻撃」

立錐(りっすい)の余地(よち)もな・い
《「呂氏春秋」為欲から》
人がたくさん集まって、わずかのすきまもない。「会場は超満員で―・い」

りつ - あん【立案】
［名］(スル)
① 工夫して計画を立てること。案を立てること。「新企画を―する」
② 草案・文案をつくること。「大要を踏まえて―する」

りつ - ぜん【慄然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
恐れおののくさま。恐ろしさにぞっとするさま。「もし火事になっていたらと―とする」

りつ - どう【律動】
［名］(スル)
規則的にある動きが繰り返されること。周期的な運動。また、リズム。「力強く―する」

りつどう - てき【律動的】
［形動］
動きにリズムのあるさま。リズミカル。「―な手足の振り」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

り‐づめ【理詰め】
思考・議論などを、論理・理屈で押し通すこと。「―で追及する」「―の論法」

り‐てき【利敵】
敵に利益をもたらすこと。「―行為」

理(り)に落・ちる
話が理屈っぽくなる。「そんな結末では話が―・ちてつまらない」

利(り)に走(はし)・る
利益だけを追い求める。「目先の―・って損をする」

り‐にん【離任】
［名］(スル)
転任・退任などで任務・任地を離れること。「―する職員の送別会」⇔着任。

り‐のう【離農】
［名］(スル)
農業をやめて他の職業に就くこと。「―して都市部で働く」

理(り)の当然
理屈からいってあたりまえのこと。「努力しなかったのだから、こうなったのも―だ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

り‐はつ【利発】
［名・形動］
《「利口発明」の意》
さとく賢いこと。才知があって頭の回転が速いこと。また、そのさま。「―な子供」

り‐はん【離反】
［名］（スル）
従っていたものなどが、そむきはなれること。「人心の―した政治」

りひ‐きょくちょく【理非曲直】
道理に合っていることと合っていないこと。不正なことと正しいこと。「―を正す」

理(り)も非もな・い
道理に合おうが合うまいが問題にしない。「―・くわがままを通す」

りゃく‐じゅつ【略述】
［名］（スル）
あらましだけを簡略に述べること。また、その述べたもの。略叙。「事件の経過を―する」

りゃく‐せつ【略説】
［名］（スル）
要点を簡単に説くこと。また、そのもの。「現代文学の諸傾向を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りゃく - どく【略読】
［名］（スル）
おおまかに読むこと。また、省略して読むこと。「要旨のみ―する」

りゃっ - き【略記】
［名］（スル）
① あらましや要点だけを簡略に記すこと。また、その記したもの。「会社の沿革を―する」
② 略して短く表記すること。「書名は―せずに示す」

溜飲（りゅういん）が下（さ）が・る
不平・不満・恨みなど、胸のつかえがおりて、気が晴れる。「試合に勝って―・った」

溜飲（りゅういん）を下（さ）・げる
胸をすっきりさせる。不平・不満・恨みなどを解消して、気を晴らす。「相手を論破して―・げる」

りゅう - か【流下】
［名］（スル）
流れくだること。「汚染物質が河川を―する」「―物」

りゅう - かい【流会】
［名］（スル）
会合が成立しないで取りやめになること。「定数不足で―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りゅう‐き【瘤起】
［名］（スル）
こぶのように盛り上がること。「肉が―している」

竜虎（りゅうこ）相搏（あいう）・つ
力の伯仲した二人の強豪が勝負する。「―・つ見ごたえのある試合」

りゅう‐こう【隆興】
［名］（スル）
物事の盛んになること。興隆。「事業が―する」

りゅう‐しつ【流失】
［名］（スル）
水などに押し流されてなくなること。「洪水で橋が―する」「―家屋」

りゅう‐せい【隆盛】
［名・形動］
勢いが盛んなこと。また、そのさま。隆昌。「―を極める」「―な社運」

りゅう‐せつ【流説】
言いふらされている根拠のないうわさ。流言。るせつ。「―に踊らされる」

柳眉（りゅうび）を逆立（さかだ）・てる
美人がまゆをつり上げて怒るようすをいう語。「―・て一気にまくしたてた」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りゅう - べつ【留別】
旅立つ人が、あとに残る人に別れを告げること。「―の宴」

りゅう - よう【流用】
［名］（スル）
定まっている使途をはずれて別のことに用いること。「接待費に―する」「旧版のイラストを―する」

りゅう - りゅう【隆隆】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 力強く盛り上がっているさま。「―とした筋肉」
② 勢いの盛んなさま。「―たる名声」

りゅうりゅう - しんく【粒粒辛苦】
［名］（スル）
穀物の一粒一粒は農民の辛苦の結晶であるということ。米を作る農民の苦労をいう。転じて、物事を成し遂げるために、こつこつと苦労を重ね、努力を積むこと。「―したすえに学者となる」

りゅう - れい【流麗】
［形動］［文］［ナリ］
よどみがなく美しいさま。詩文・音楽などがなだらかでうるわしいさま。「―な文字」「―な文体」

りゅう - ろ【流露】
［名］（スル）
気持ちなどが外にあらわれ出ること。「切々たる思いの―した書簡」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りょう - うん【凌雲】
雲をしのぐほどに高いこと。俗世を超越していることにいう。「飄々（ひょうひょう）たる―の気」

りょうけん - ちがい【料簡違い】
見当違い。考え違い。「自分だけがつらいと思うとは―もはなはだしい」

りょうげん - の - ひ【燎原の火】
燃えひろがって野原を焼く火。勢いが盛んで防ぎ止められないもののたとえにいう。

りょう - さく【良策】
よい策。よい方法。

りょう - しょ【猟書】
書物、特に珍しい書物を探しまわって、買いあさること。「―家」

りょう - じょ【諒恕】
［名］（スル）
相手の立場や事情を思いやってゆるすこと。「御―賜りたい」

りょう・する【諒する】
［動サ変］［文］りやう・す［サ変］
やむを得ないとして認める。事情を思いやって納得する。諒とする。「その点は―・せられたい」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りょう‐ぜん【瞭然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
はっきりしていて疑いのないさま。明白であるさま。「―たる事実」「一目―」

両端(りょうたん)を持(じ)・する
《「史記」信陵君伝から》
どちらにつくか決めないで、あいまいな態度をとる。「派閥争いの外にいて―・する」

りょう‐ち【了知】
［名］(スル)
はっきりと知ること。よく理解すること。「事の是非を―する」

りょう‐どう【糧道】
食糧を運ぶ道筋。また、食糧を手に入れる方法。「―を断たれる」

諒(りょう)と◦する
まことだとする。よしとする。もっともだとして承知する。「その申し入れを―◦する」

りょう‐ひ【良否】
よいことと、よくないこと。よしあし。「品質の―を調べる」「―を判定する」

りょう‐むかい【両向（か）い】
互いに面と向かっていること。また、向かい合っている二つのもの。「―の店」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りょう‐りょう【喨喨】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
音の明るく澄んで鳴り響くさま。「―たるトランペットの響き」

りょう‐りょう【稜稜】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① かどだっているさま。また、気性などが厳しいさま。「―たる山々」「気骨の―たる人」
② 寒さが厳しいさま。「―たる寒気」

りょう‐りょう【寥寥】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
ひっそりとしてもの寂しいさま。また、空虚なさま。「―たる荒れ野」

両両(りょうりょう)相俟(あいま)って
二つのものが互いに助け合って。「デザインと機能とが―すばらしい家具」

涼(りょう)を取・る
涼しい風に当たるなどして、暑さをしのぐ。すずむ。涼を納(い)れる。「縁先で―・る」

りょ‐がい【慮外】
［名・形動］
① 思いがけないこと。また、そのさま。「―な（の）ことを言う」
② 無礼であること。また、そのさま。ぶしつけ。「―ながら一言申し述べます」「―千万」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りょ - じょう【旅情】
旅に出て感じるしみじみとした思い。旅の情趣。たびごころ。「―をそそる」

りょ - そう【旅装】
旅行をするときの服装。旅じたく。「―を解く」

りょっ - か【緑化】
［名］（スル）
木を植えて緑をふやすこと。「都市を―する」「―運動」

理(り)を分・ける
わかりやすく筋道を立てて道理を説明する。「―・けて説き聞かせる」

りん - しょく【吝嗇】
［名・形動］
ひどく物惜しみをすること。また、そのさま。けち。「―な人」

りん - ぜん【凜然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 寒気のきびしいさま。
② 勇ましくりりしいさま。凜乎(りんこ)。「―と言い放つ」

りん - ばん【輪番】
大勢の人が順をきめて交替で事に当たること。まわりもち。まわり番。「―で夜警に当たる」「―制」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

りん - り【淋漓】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 水・汗・血などが、したたり流れるさま。「鮮血―」
② 勢いなどが表面にあふれ出るさま。「墨痕―」

りん - りつ【林立】
［名］（スル）
林のように、たくさんのものが並び立つこと。「テレビアンテナが―する」

りん - りん【凜凜】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 寒気がきびしく身にしみるさま。「―たる霜夜の気」
② 勇ましいさま。りりしいさま。また、心のひきしまるさま。「勇気が―とわいてくる」「―とした声」

りん - りん【轔轔】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
車が走って、きしんだ音をたてたり地面を轟かしたりするさま。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.